

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20223002	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	イノベーション・プロセスに関する産学官連携研究	研究代表者 (所属・職)	中馬 宏之（一橋大学・イノベーション研究センター・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究における三つのプロジェクトはそれぞれ多数の研究成果を公表しており、順調に研究が進んでいるものと見られ、期待どおりの成果が得られるものと期待できる。公表されている研究成果の内容も詳細なデータを用いた分析を行うなど水準の高いものであると評価できる。研究組織も参加研究者の研究成果が偏っておらず効率的に運用されており、研究費の使用も使用状況から見て問題は見当たらない。</p>	

【平成25年度 検証結果】

検証結果	研究進捗評価結果どおりの研究成果が達成された。
A	<p>本研究の目的は、様々な科学・技術分野にまたがって生み出されるイノベーション・プロセスと半導体、バイオテクノロジーといったサイエンス型産業に関連したイノベーション・プロセスを対象として日本のイノベーション・プロセスの特徴や問題点を明らかにし、研究開発活動のパフォーマンスを向上させる政策や戦略を検討することであったが、研究プロジェクトなどに関連した詳細な個票データや実地調査の結果を詳細に分析することで、目的は十分に達成されたと評価できる。</p> <p>研究成果は数多くの邦語の論文として発表されているが、今後は、英語の論文により世界に周知されることが期待される。</p>